

《資料》

部落解放研究関係文献目録

(一九八二年四月～六月)

【現 状】

小森哲郎「同和問題に関する学生の意識」

(『同和教育関係資料』所収、北九州大学、4月)

西日本新聞社人権取材班『若よ太陽に語れ「差別と人権」を考えろ』(西日本新聞社、4月)

ニホンミック『切抜き速報教育版へ人権と福祉編』一九八二年

二号(同上、4月)

庄谷邦幸「(本の紹介) 鶴嶋雪嶺編『部落産業の現状と課題』」

(『部落解放』一八一号、5月)

福岡安則「静岡県下のある被差別部落での聞き取りから」

(同右)

(編集部)「国民各層の状況と闘争—未解放部落住民」

(『前衛』四七九号、5月)

東京都産業労働会館『かわとはきもの』No.40(同上、6月)

ニホンミック『切抜き速報教育版へ人権と福祉編』一九八二年

三号(同上、6月)

労働省編「同和地区住民の雇用対策」

(『労働問題のしおり』所収、労働省、1981年11月)

ニホンミック『切抜き速報教育版へ人権と福祉編』一九八二年

一号(同上、1982年2月)

【行 政】

村崎勝利「(動向) 行政・基地の街の同和対策事業」

(『部落』四一七号、4月)

日本共産党国会議員団「地域改善対策特別措置法案にたいする修正案の発表にあたって」(『国民融合通信』九五号、4月)

(資料)「日本共産党の修正案(本則部分全文)」(同右)

大阪府同和事業促進協議会『大阪府同和事業促進協議会第31回定

例総会議案書』(同上、4月)

大阪市同和衛生事業組合『大阪市同和衛生事業組合10周年記念式典・設立10周年』(同上、4月)

全国障保館連絡協議会『全障協だより』再刊一号

(同上、4月)

八木晃介「(本の紹介)磯村英一著『同和問題と同和対策』」

〔『部落解放』一八一号、5月〕

《特集》「『地域改善法』をめぐる」

〔『部落』四一八号、5月〕

三谷秀治「『地域改善法』と同和行政の新しい課題」

田上和儀「昭和五十七年度地域改善対策予算をみる」

〔資料〕「地域改善対策特別措置法」ほか

田上和儀「新段階の同和行政、その方向―解同路線の破産示した地域改善特別措置法」(『赤旗評論特集版』二六三号、5月)

大阪市同和事業促進協議会「第30回年次総会報告並議案書」

(同上、5月)

《特集》「同和対策」新法の成立と展望」

〔『部落解放研究』三〇号、6月〕

磯村英一「『同和対策』の成立と展望」

田中 充「『地域改善対策特別措置法』と今後の部落産業―

―その問題と課題」

寺尾孔明「『新法』と今後の同和行政の発展の方向」

部落解放同盟中央本部「『同和対策』新法・『地域改善対策

特別措置法』成立にあたってのわが同盟の見解」

〔資料〕「地域改善対策特別措置法」

〔資料〕「『地域改善対策特別措置法』施行令」

〔資料〕「『地域改善対策特別措置法』の施行について」

東上高志「〈今月の部落問題・同和教育〉地域改善対策特別措置

法」(『月刊』の子も伸びる』六一号、6月)

早川和男「新しい町づくり―番町住宅を見て考えたこと」

〔『月刊部落問題』六七号、6月〕

石岡克美「岡山県における同和行政の現状と課題―『あり方懇

から』(『部落問題―調査と研究』三八号、6月)

飯田富一「部落の変化と今後の課題」

〔『部落問題研究』六八号、1981年10月〕

杉之原寿一「同和行政の点検・見なおしのポイント」(同右)

瀬川負太郎「地域社会と同特法」(同右)

友永健三「部落解放につながる『新法』制定を」

〔『部落解放研究』二八号、1982年1月〕

〔資料〕「部落解放研究所研究部事務局『同和対策協議会の最終

意見具申出される』」(同右)

友永健三「特別措置法』強化改正、『基本法』制定をめざして」

〔『部落解放研究』二十九号、1982年3月〕

〔資料〕「地域改善対策特別措置法(仮称) (案)」(同右)

### 【運動】

吉岡良治「矢田刑事事件最高裁決定について」

〔『部落』四一七号、4月〕

瀬川負太郎「解同王国からのレポート(その二)」(同右)

黒田真隆「(動向)運動・全解連第11回大会開く―運動本流へ大

きく前進」(同右)

部落解放同盟中央本部「『地域改善対策特別措置法』―『同和对

策』新法の成立と今後の課題」(同上、4月)

野間 宏「狭山裁判(第七五回)―異議申立の棄却決定批判(11)」

〔『世界』四三七号、4月〕

山上益朗「矢田教育差別事件裁判について―裁判官の人権感覚と

人権闘争」(『部落解放』一八一号、5月)

〔資料〕「矢田教育差別事件上告棄却決定(全文)」(同右)

部落解放同盟中央本部「(資料) 矢田教育差別事件上告棄却への

抗議声明(全文)」(同右)

部落解放同盟中央本部「北九州市土地疑惑問題に関する中間報

告」(同右)

部落解放同盟福岡県連合会「北九州市に於ける土地疑惑について

の中間報告」(同右)

〔資料〕「部落解放同盟中央本部『北九州市土地疑惑問題に関す

る中間報告』」(『解放教育』一五一号、5月)

〔資料〕「地域改善対策特別措置法案」(同右)

山内康雄「八鹿国賠訴訟ならびに懲戒処分取消請求訴訟の和解の

意義」(『部落』四一八号、5月)

瀬川負太郎「解同王国からのレポート(その三)」(同右)

杉尾敬明・杉之原寿一・斉藤浩志ほか「〈座談会〉新法成立と今

後―新法は部落解放に役立つか」

〔『月刊部落問題』六六号、5月〕

兵庫県人権共闘会議事務局「八鹿国賠訴訟、片山・橋懲戒処分取

消請求訴訟の和解について」(同右)

大賀正行「部落解放運動の当面する課題―水平社創立六〇周年に

あたりて」(『社会評論』三七号、5月)

《労働者通信》部落解放の闘いの中から》(同右)

今木誠造「反『解同』キャンペーンとの対決―遅れた意識を

かきたてる日本共産党」

下見千秋「部落完全解放の日まで―学生部落解研をききいた

若い意志」

田村くるみ「今、闘いの正念場だ―結婚差別を契機にして」

竹内清志「解放運動の『怒り』を共有しよう―差別と対決し

えない日本共産党のデマ宣伝」

野間 宏「狭山裁判(第七六回)―異議申立の棄却決定批判(12)」

〔『世界』四三八号、5月〕

岩瀬隆志「『悲鳴』も聞かず『人影』も見なかった―十九年後の

現場検証」で石川自供の矛盾を確認―狭山事件の怪」

〔『アサヒグラフ』三〇八五号、5月〕

磯村英一「新立法を控えて―人権思想の展開と同和問題」

〔『月刊ペン』一五巻五号、5月〕

〔編集部〕「行革など寄せつけぬ独立保護国『解放同盟』」

〔『週刊新潮』一三五四号、5月〕

小森龍邦「地域改善対策特別措置法と今後の方向」

〔『解放運動と同和教育』二八七号、5月〕

部落解放研究所部落解放大学実行委員会「第10期部落解放大学講

座受講生のしおり」(部落解放研究所啓発企画部、5月)

狭山中央闘争委員会「18年めの新事実」〈狭山差別裁判第一〇一

号〉(同上、5月)

《特集》「『地域改善対策特別措置法』の成立と今後」

『部落解放』一八二号、6月)

上杉佐一郎(「刑冠旗」運動の原点を踏まえて新法具体化のたたかいを)

部落解放同盟中央本部「同和对策新法」地域改善対策特別措置法」成立にあたってのわが同盟の見解」

部落解放同盟中央行政闘争本部事務局「新法具体化をどうたたかうか」特別措置法」強化改正闘争・各省交渉の総括から」

編集部「新法を先取り―兵庫・姫路市が名称変更を目論む・

『同和』を『地域改善』に」

(資料)「地域改善対策特別措置法」

(資料)「地域改善対策特別措置法施行令」

(資料)「地域改善対策特別措置法」に関する国会の質問と答弁」

(資料)「全国部落解放運動連合会」地域改善対策特別措置法の制定にあたって」

(資料)「自民党同和对策特別委員長・前田勲男」地域改善法制定の経過」

(資料)「地域改善対策特別措置法」の成立にいたるまでの関連年表」

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

『特集』「部落問題と新聞報道―北九州・土地転がし問題を中心に」(『部落』四一九号、6月)

杉之原寿一「北九州市土地転がし疑惑事件をめぐって」

瀬川貞太郎「誌上座談会―北九州市の土地転がし―マスコミ記者の体験と意見」

(資料)「事件を報じた各種新聞記事から」

成沢栄寿一(「動向」研究・『異部落一巻』は差別図書か」(同右)

前田 武「差別落着に立脚した『運動』許さず―二大学への調査のなから」(『月刊部落問題』六七号、6月)

野間 宏「狭山裁判(第七七回)―異議申立の棄却決定批判(13)」(『世界』四三九号、6月)

亀井トム「この公開状の意義と役割について―解放運動の自浄能力の証左」(『現代の眼』二三巻六号、6月)

酒井真右一(「投稿」荒廃する言論に何ほどの信義ありや・解放新聞・土方鉄編集長への公開状―部落解放運動を毒する元凶を内

部告発する」(同右)

東上高志「旧法一三年、新法五年」

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(『月刊滋賀の部落』七六号、6月)

(同上、6月)

部落問題研究所「資料・地域改善対策特別措置法」

(同上、6月)

富田解放会館「一九八二年度部落解放高槻市民共闘会議第9回定期総会議案書」(同上、6月)

狭山中央闘争委員会「小名木証言を裏づける」(狭山差別裁判第一〇二号)(同上、6月)

部落解放同盟中央婦人対策部「部落解放第26回全国婦人集会」(部落解放同盟中央本部、1981年3月)

大阪府同和事業促進協議会「あいつぐ差別事件一九八一」(同上、1981年3月)

部落解放同盟栃木県連合会「部落解放同盟第九回栃木県連定期大会議案書」(同上、1981年4月)

部落解放大分県共闘会議「第四回定期総会議案書」(同上、1981年6月)

栃崎博孝「国民的融合をめざす部落解放運動の道すじ」(『部落問題研究』六八号、1981年10月)

丸井京二「退歩か新たな前進か―大阪の運動の現局面」(同右)

門田陽一「北九州土地ころがし事件が示すもの」(『前衛』四七四号、1982年1月)

北川鉄夫「『有賀弘東大教授問題』をめぐる感想」(『国民融合通信』九三号、1982年2月)

『特集』「全国水平社創立60周年記念」

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

岡 映「水平社創立六十周年をかえりみて」

岡 映・正司武雄・石岡克美ほか(「座談会」新たな段階に立ち向う部落解放運動の展望」

大賀正行「『特別措置法』強化改正をめぐる情勢と課題」(『部落解放研究』二九号、1982年3月)

部落解放研究所「部落解放年鑑」(一九七八・七九年版)(同上、1982年3月)

【理 論】

磯村英一「国民的課題としての同和研究・教育の発足―水平社六十周年の経験から」(『部落解放』一八二号、6月)

福岡安則「解放社会学をめざして」(同右)

編集部「部落解放研究関係文献目録」(一九八一年十月〜十二月)(『部落解放研究』三〇号、6月)

編集部「部落解放研究所紀要」(『部落解放研究』総目次)(同右)

磯村英一「人権理論の発露」

(『都市問題の系譜』所収、東海大学出版会、6月)

長谷川善計「日本の社会と部落問題」(「市民学習シリーズ11」(兵庫部落問題研究所、6月)

真田 是「日本の民主主義と部落問題研究の課題」(『部落問題研究』六八号、1981年10月)

編集部「部落解放研究関係文献目録」(一九八一年四月〜六月)」(『部落解放研究』二八号、1982年1月)

『第四回部落解放研究者会議』

『部落解放研究』二九号、1982年3月)  
〈第二日目・各部門別討議のまとめ―八一年度活動報告と八一年度研究課題〉

編集部「部落解放研究関係文献目録(一九八一年七月〜九月)」(同右)

木戸季市「岐阜県の未解放部落(その1)―歴史と現状」

(『聖徳学園女子短期大学紀要』八号、1982年3月)

板野倫夫「小森竜邦著『部落解放の主体形成の理論』から―大賀正行氏の独断論とも対比して」

(『部落問題―調査と研究』三七号、1982年3月)

【解放教育】

《特集》「はじめて『同和教育』にとりくむ人のために」

(『部落解放』一八〇号、4月)

森口謙二・清岡末広・高浜真理子ほか「〈座談会〉子どもたちへ向かって」

高松秀憲「教師のあり方を問われて―奈良・大淀旭ヶ丘小教  
育差別事件から」

荒木康雄「部落出身教師の結集を―全国部落出身教職員の交  
流会から」

山中多美男「子どもをとりまく現状と『非行』の克服」

梅原達也「部落解放教育と反核・反戦平和教育の結合」

佐藤 洋「融和教育実践の破綻―日教組31次・日高教28次教育研  
究全国集会から」(同右)

西田英二「(ある闘い) 52歳で保母試験に合格―東本均さん」

(『部落解放』一八〇号、4月)

全国解放教育研究会「なにが討論されているのか―読本『にんげ  
ん』改訂をめぐる討論のなから」

(『解放教育』一四九号、4月)

日笠俊男「(動向) 教育・二五周年を迎える岡山県民主教育協議  
会」(『部落』四一七号、4月)

《特集》「実態調査と教育の課題」

(『季刊同和教育運動』一七号、4月)

安川重行「奈良県御所市小林地区の仕事・教育・住居の変化  
の実態―第三次日教組教研報告より30年を経過した今日の  
課題として」

楠本一郎「和歌山県における実態調査活動の教訓」

中野 功「京都府『生活・学習』についての実態調査」の教訓  
と課題―部落の子どもたちに基礎的な学力を保障していく  
ために深めるべき若干の課題をめぐって」

本田清春・南沢透・山田稔「滋賀県内における実態調査のと  
りくみから―生活と学力のかかわりを重視して」

石田真一「『高校進学』問題と同和教育の課題」(同右)

楠本員久「同和教育と学級集団づくり」(同右)

更井吉則「大淀旭ヶ丘小学校の同和教育」(同右)

中沢憲一「長野県の同和教育をめぐる状況―同推協暴力事件の経  
過」(同右)

吉岡 浩「地域主権者づくりと教育運動」(同右)

近藤敏之「徹底的な管理に抗して―主任制度下の学級・その  
たたかひ」

《第31回日教組教研集会》(同右)

松村敏明「障害者の怒りを共有しえたか―第13分科会に参加  
した」

森 史郎「人権教育分科会に参加して」

新井士郎「埋れ火を見た」

大城正・吉川弘「人権教育分科会報告(七分より)」

谷内照義「(図書紹介) 林力著『差別認識への序章』」(同右)

梅田 修「(動向) 教育・実態調査と教育の課題―『同和教育運  
動』17号が特集」(『部落』四一八号、5月)

金尾英明「いま、広島で起きていること―解放教育つぶしとし  
ての定通制攻撃」(『社会評論』三七号、5月)

筆原裕明「(教室の窓から) 被差別の子供に学ぶ」

(『月刊教育の森』六六号、5月)

上田 建「(教育実践2) 平和教育と人権学習―ナガサキ修学旅  
行の経緯」(『ヒロシマ・ナガサキの証言』二号、5月)

東 義和「同和教育の基礎理論」(明石書店、5月)

中野陸夫「人権問題学習の教材と展開」(大阪教育大学教育実践  
シリーズ) (第一法規、5月)

村田 拓「絶望のときを切り裂く―解放教育論ノート」

(現代社会・文化研究所、5月)

大阪同和保育連絡協議会「第14回同和保育連絡協議会総会」  
(同上、5月)

(資料)「第31次日教組・第28次日高教教研集会―人権教育分科  
会報告」(同右)

出口俊一「『現代融和教育批判』は批判の書たりえているか(3)  
―小森龍邦論文を中心に」

(『月刊部落問題』六五号、4月)

小森哲郎「同和教育問題に関する学生の意識」

(『同和教育関係資料』所収、北九州大学、4月)

箕面市立萱野保育所「同和保育の現場から①―家庭訪問」

(『はらっぱ』一九号、4月)

編集部「この人を訪ねて⑤―五二歳で保母試験合格の東本均さん」  
(同右)

長野県高等学校教文会議同和教育専門委員会『なかもと』

〈同和教育テキスト〉(同時代社、4月)

北九州大学「同和教育関係資料」(同上、4月)

兵同教同和教育学習資料検討委員会「同和教育学習資料(オート  
スライド) 小学校2年生用「しごと」・小学校2年生用「もう  
なかないよ」・小学校中学年向け「みんなといっしょに」・小  
学校1年生用「みんなげんき」・小学校中学年向け「わたした  
ちのまち」指導の手引き」

(兵庫県同和教育研究協議会、4月)

同和教育における授業と教材研究協議会『国語教科書攻撃と文学  
の授業』(青木書店、4月)

《特集》「学級をつくる」(『解放教育』一五一号、5月)

大野邦子「腹でかたつくり方と学級と」

全国解放教育研究会ほか『第9回にんげん実践研究会』

(同上、5月)

泉佐野市同和教育研究会・泉佐野市教育委員会「機関紙・佐同研」(同上、5月)

中野陸夫「(本の紹介)大阪同和教育史料集編纂委員会編『大阪同和教育史料集』」(『部落解放』一八二号、6月)

編集部「緊急速報・いま兵庫でおこっていること」

(『解放教育』一五二号、6月)

中尾 誠「民主教育研究の動向と課題」

(『部落問題—調査と研究』三八号、6月)

中野陸夫「同和教育と道徳教育の『関係』をめぐる諸問題—道徳教育をどう見直すべきか—道徳教育における学校の任務をめぐって」(『現代教育科学』三〇七号、6月)

籠原裕明「教室の窓から」差別の現実から学ぶ」

(『月刊教育の森』六七号、6月)

小沢有作「人権教育」

(『日本の教育』第31集)所収、一ツ橋書房、6月)

川向秀武「(図書紹介)総括の重要な手がかかり—『大阪同和教育史料集』第一巻(発行・部落解放研究所)」

(『解放新聞』一〇七三号、6月)

岸本裕史「すべてのことにも確かな学力を—小二年編」

(『部落問題研究所』6月)

清原直雄「少年期の人たちのために」(同上、6月)

岡田弘義「小学校六年社会科『被差別部落』の指導を考える」

(『部落解放史ふくおか』二三号、1981年3月)

兵庫県同和教育協議会「別兵庫の同和教育—第27回兵庫県同和教育研究会大会中央大会集録」(同上、1981年3月)

同和教育研究会京都府連合会「京都府の同和教育」第22集

(同上、1981年3月)

同和教育研究会京都府連合会「同和教育を推進するための子どもの生活・学習についての実態調査調査報告書」

(同上、1981年3月)

同和教育研究会京都府連合会「くらしと結ぶ同和教育」(同和教育内容シリーズ10)(同上、1981年4月)

加島高校教科編事務局「部落解放加島高校教科編五年の歩み」

(同上、1981年7月)

同和教育研究会京都府連合会「地域における学習活動と部落問題」(同上、1981年7月)

三重県社会科教育研究会「同和教育をわらうとした社会科の実践」

(『三重県社会科教育三十年史』所収、同上、1981年7月)

《特集》「同和教育施策の経緯について(その2)」

(『教育福岡』三四二号、福岡県教委、1981年7月)

教育の反動化を憂うる学者・研究者・文化関係者の会「教育の反動化に抗する」(同上、1981年9月)

兵庫県同和教育研究会協議会「第28回兵庫県同和教育研究会大会中央大会実践報告集」(同上、1981年10月)

文部省小学校教育課・幼稚園教育課「同和教育研究指定校」

(『初等教育資料』四一五号、1981年10月)

石田真一「同和教育白書運動の意義と今日の課題」

(『部落問題研究所』六八号、1981年10月)

梅田 修「同和教育における学力調査と学力問題」(同右)

「翔」編集委員会「翔」第七号(鳥取県立倉吉東高等学校、1981年11月)

同和教育研究会京都府連合会「ひろば—第23回同和教育研究会京都府集会報告書」(同上、1981年12月)

部落解放研究所中・高部会「高校生の部落問題に関する意識調査の分析—第二報・クロス集計から明らかになったこと」

(『部落解放研究』二九号、1982年3月)

小林 武「教育を受ける権利と立法の不作為—『私学訴訟』第一審判決を契機として」

(『南山法学』五巻四号、1982年3月)

大阪市同和教育研究協議会「解放教育の創造7」八一—九八一年度大阪市同和教育研究大会実践報告集(同上、1982年)

## 【人権】

古川元晴「売春防止法の運用について」

(『法律のひろば』三五巻四号、4月)

《新たな攻撃に立ち向う婦人労働者》

(『労働運動』一九六号、4月)

桜井絹江・川口和子「サッチャー政権下で高揚する婦人労働運動」ほか

《特集》「わたしはなぜ自白したか」

(『朝日ジャーナル』二〇九号、4月)

千本建一郎「(緊急インタビュー)ただただ案になりたかった—勤銀大森支店強殺事件の近田氏に聞く」

松永憲生「近田無罪」の決算簿—8年間の追跡調査を終え

て」

金井清吉「誤判をなくすために—鹿児島夫婦殺人事件のケーススタディから」

編纂部「(批評と紹介)廣津和郎著『裁判と国民』上・下—政治的威嚇から裁判を守る者は誰か」

金海脩「情報化社会におけるプライバシー」

(『自由』二六七号、4月)

横山孝雄「先住民は連帯する—第3回世界先住民民族会議に出席して」(『第三文明』二五二号、4月)

岡部保男「誤判・えん罪の温床—警察拘禁施設法案とウソの『自白』」(『赤旗評論特集版』二六〇号、4月)

福田邦夫「フランス・マグレブ間における労働移動—アルジェリアにおける労働力存在形態」

(『アジア経済』三巻四号、4月)

小森龍邦「インドにおけるハリジャンとのふれあい(3)〜(5)」

(『解放運動と同和教育』二八四〜六号、4月・5月)

日向 康「松川事件—謎の累積」(毎日新聞社、4月)

前坂俊之「日本死刑白書」(三一書房、4月)

高崎隆治「文学のなかの朝鮮人像」(青弓社、4月)

成 律子「白い花影」(創樹社、4月)

- ヴィリ・フェニアマン著・野村汝訳『隣の家の出来事』へあたり  
しい文学6(岩波書店、4月)
- 丸木位里・俊・「原爆の凶」展実行委員会編『不戦のちがい—大阪「原爆の凶」展の記録』(同上、4月)
- 朴 慶植編『在日朝鮮人統制組織「協和会」機関誌』へ朝鮮問題資料叢書第四巻(アジア問題研究所、4月)
- 関西婦人労働問題研究会『クリッピングジャーナル女性』№6  
(同上、4月)
- 日本評論社『復帰10年の沖縄白書』へ法律時報増刊(同上、4月)
- 胎中産啓「からだ全体でぶつかって—三年三組 梅谷尚司」  
(『解放教育』一五二号、5月)
- 《特集》「沖縄復帰一〇年の現実」  
(『月刊社会党』三二二号、5月)
- 《特集》「沖縄復帰十年と千島問題」  
(『歴史地理教育』三三六号、5月)
- 《特集》「女性職員の突きつけるもの」  
(『地方自治職員研修』一八二号、5月)
- 《特集2》「障害者問題の国際動向」  
(『資金と社会保障』八四二号、5月)
- (資料)「障害者問題の国際動向に関する資料集」ほか  
「ニュースウィーク」特約、間庭恭人訳「失業者にあえぐ西欧の憂うつ」(『朝日ジャーナル』一二二二二号、5月)
- 「ニュースウィーク」特約、和田敏彦訳「出口なき西欧の移民—中島通子「婦人に対する差別撤廃条約の完全批准に向けて」寺沢勝子「労働における女性差別の実情とILO一五六号条約、一六五号勧告」
- 大野明子「公的年金制度における女性の問題」  
伊東すみ子「婚姻および家族法における差別」  
ヤンソン由実子「教育における婦人差別」  
大脇雅子「母性保障をめぐる」
- 部落解放研究所研究部人権部会事務局「プライバシー侵害の実態について—興信所・探偵社との関係において」  
(『部落解放研究』三〇号、6月)
- 西 弘「『ミナマタ』にかける—『水俣病—斉授業』とその後」  
(『解放教育』一五二号、6月)
- 鎌田 慧「財田川事件再審裁判報告—重要証拠に冷淡だった鑑識官」(『朝日ジャーナル』一二一九号、6月)
- 浅倉むつ子「イギリス「男女平等法」その後」  
(『季刊労働法』一二四号、6月)
- 石村善治「情報公開とプライバシー保護の接点」  
(『法学セミナー増刊・総合特集シリーズ19』所収、6月)
- 伊達秋雄「プライバシー保護立法化の課題」(同右)
- 《小特集》「障害者解放運動に学ぶ」  
(『東京部落解放研究』三〇号、6月)
- 渡辺鋭気「障害者差別の現実と解放運動」  
千田好夫「障害者解放と自立への希求」  
柴山恵美子「イタリアにおける保護と男女平等—女性の労働権確
- 立をめぐって」(『総評調査月報』一八六号、6月)
- 椎屋紀芳「自由—冤罪はこうして作られる」(風媒社、6月)
- 牧港篤三詩・儀間比呂志版画「沖縄の悲哀」(集英社、6月)
- 全国障害者解放運動連絡協議会「障害者解放運動の現在—自立と共生の新たな世界」(現代書館、6月)
- 河野 玄「木綿のサリー—インド幻想行」(あらし書店、6月)
- 日本弁護士連合会再審法改正実行委員会「日弁連再審通信」№27  
(同上、6月)
- 関西婦人労働問題研究会「クリッピングジャーナル女性」№8  
(同上、6月)
- 国際障害者年を機に「障害者」の自立と完全参加を求める大阪連絡会議「第一回「障害者」解放研究集会」  
(同上、1981年2月)
- 大阪市婦人問題対策推進協議会「婦人に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」(同上、1981年3月)
- 東京都生活文化局婦人青少年部婦人計画課「婦人に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を考へる—女性として男性として」(同上、1981年3月)
- 三重県総合教育センター「社会運動の展開と部落改善事業」「融和と教育の展開」(『三重県教育史』第二巻、三重県教育委員会、1981年3月)
- 《小特集》「インドにおける反差別・解放運動との交流をめざして」(『部落解放史ふくおか』二三三号、1981年3月)
- 三吉鉄児「インド反差別・解放運動との交流をめざして—P
- 世—人種差別と異文化のはざままで」(同右)
- 金 贊汀「『僕らなんていじめられるんや』在日朝鮮人の子どもの受難」(『朝日ジャーナル』一二二四号、5月)
- 香川達夫「へ本—思想と潮流」K・ペーターズ著、能勢弘之ほか訳「誤判の研究」・小田中聰樹著「誤判救済と再審」—事実認定にかかわるのは人間だという視点」  
(『朝日ジャーナル』一二二六号、5月)
- 五十嵐二葉「代用監獄と留置施設—警察国家への急カーブか」  
(『世界』四三八号、5月)
- 小林 節「展覧判例法・憲法④法の下の平等と国籍二条」  
(『判例タイムズ』四六三号、5月)
- 田中 宏「(教育情報) 国立学校の教員と国籍—日本の教育の本質が問われている」(『教育』四二二号、5月)
- 飯坂良明「アジアの苦悩と希望—第2回アジア宗教者平和会議から」(『アジア』一六八号、5月)
- 前坂俊之「冤罪と誤判」(田畑書店、5月)
- 真尾悦子「いくさ世を生きて—沖縄戦の女たち」  
(筑摩書房、5月)
- 婦人民主クラブ「婦人民主新聞縮刷版(一九五四〜五九年)」  
第2巻(同上、5月)
- 関西婦人労働問題研究会「クリッピングジャーナル女性」№7  
(同上、5月)
- 《特集》「婦人差別の今日的課題」  
(『自由と正義』三三六号、6月)

・P・ガルド氏(インド仏教徒協会書記長)を迎えて」  
P・P・ガルド「インドにおける被差別カーストの解放運動」

藤林晋一郎訳・解説「続・ダリット・ポエトリー」『ザ・イ  
ラストレイテッド・ウィクリー・オブ・インディア』誌より」  
P・タンガラージ、辻由美訳「パツランとはどんな人たちか  
?」(2)―南インド・タミル州の被差別カースト(アンタッチ  
ャブル)Ⅱパツランの歴史と現状」

プシビルスキ「裁かれざるナチス・ニルンベルク裁判とその  
後」(大月書店、1981年4月)

タン・コクセン『シンガポール育ち―ある苦力の自伝』  
(刀水書房、1981年6月)

東京都生活文化局婦人青少年部婦人計画課「婦人問題解決のため  
の東京都行動計画―昭和56年度実施細目」  
(同上、1981年7月)

全国障害者解放運動連絡会議全国事務局「全障連第六回交流大会  
基調(案)・分科会基調(案)」(同上、1981年8月)

全国障害者解放運動連絡会議「全障連第六回交流大会レポート  
集」(同上、1981年8月)

《特集》「インド・レポート」  
(『アジア労働運動資料』三一号、1981年8月)

東京都生活文化局都民広聴部調査課「婦人問題に関する世論調査」  
(東京都生活文化局婦人青少年部婦人計画課、1981年9月)

藤本 剛「両大戦間期フランスにおける外国人労働力問題(上)」

―一九二〇年代を中心として―

(『経済学』四三巻二号、東北大学、1981年10月)  
国際障害者年対策連絡会議『国際障害者年対策資料集(障害者と  
労働者の連帯全国集会)』(同上、1981年11月)

フニア・フェヌロン「フニア歌いなさい」  
(文藝春秋、1981年11月)

朴 慶植編「戦時強制連行・労務管理政策Ⅱ」(朝鮮問題資料叢  
書第二巻)(アジア問題研究所、1981年11月)

部落解放研究所研究部事務局「国際人権規約批准後の現状と課題  
―自由権規約に関する日本政府報告」批判」  
(『部落解放研究』二八号、1982年1月)

村越末男「国際人権規約と日本の差別」(同右)

友永健三「差別煽動をめぐる問題」について―自由権規約二〇  
条をめぐる(同右)

大野町子「国籍をめぐる問題について―自由権規約三四条をめぐ  
る(同右)

(資料①)「国連局企画調整課「市民的及び政治的権利に関する  
国際規約第四十条に基づく報告(暫定訳)」」(同右)

(資料②)「大阪市・戸籍謄本等交付並びに住民基本台帳等の関  
覧等事務取扱要綱」(同右)

大越康夫「アメリカにおけるプライバシーの権利の展開」  
(『国際商科大学論叢』二五号、1982年1月)

上村貞美「フランスにおける人権類型論」  
(『香川大学教育学部研究報告』五四号、1982年1月)

朴 慶植編『在日朝鮮人の生活状態(解放前)』(朝鮮問題資料  
叢書第三巻)(アジア問題研究所、1982年2月)

深井輝子「婦人関連資料センターの資料構成」  
(『阪南論集』十七巻二・三号、1982年2月)

《婦人労働の変化と経営労働問題》(『労働問題研究』十四号、  
近畿大学労働問題研究所、1982年2月)

河相善雄「米国『全障連教育法』の成立過程に関する研究Ⅱ  
個別教育プログラムを中心に」(『教育学研究紀要』二七巻、  
中国四国教育学会、1982年3月)

《国際人権規約批准の現状と課題(統)》  
(『部落解放研究』二九号、1982年3月)

金 東勲「自由権規約に関する日本政府報告と在日外国人の  
人権」  
中務嗣治郎「刑事裁判における誤判とその原因―自由権規約  
九条・一四条をめぐる」

斉藤恵彦「日本政府報告書に対する国連人権専門委員会の検  
討記録(仮訳)―自由権規約をめぐる」

金子・マーチン「部落問題に関するドイツ語圏内の最近の動向」  
(『部落解放研究』二九号、1982年3月)

東大阪市教育委員会「在日外国人園児・児童・生徒に関する教育  
指針(主として在日韓国・朝鮮人園児・児童・生徒)」  
(同上、1982年)

【社会啓発】

八木晃介「差別意識の情況と変革」(解放出版社、4月)  
和泉市同和教育推進協議会・和泉市教育委員会「差別のない明る  
いまちづくりをめざして」(あかるい町第9集)  
(同上、4月)

部落解放研究所「社会啓発情報」No.7(同上、5月)

原田 彰「社会同和教育への視点」  
(『部落解放研究』三〇号、6月)

安田信託銀行同和推進委員会事務局「地名総鑑購入差別事件につ  
いて」(『社内同和研修テキスト』(同上、1981年9月)

原田 彰「社会同和教育への視点」  
(『徳島大学学芸紀要(教育学部)』三〇号、1981年10月)

野口道彦「被差別部落に対する偏見の内部構造について」  
(『大阪教育大学紀要(社会科学・生活科学)』三〇巻一・二  
号、1981年10月)

摂津市同和事業促進協議会・摂津市人権教育推進委員協議会「日  
常生活における人権」(人権啓発シリーズNo.1)

(同上、1981年11月)

岡山部落解放研究所「企業と部落問題」(『社会啓発シリーズ1』  
(同上、1981年11月)

部落解放研究所・啓発部会「地方自治体の市民啓発についての意  
見書(三)―大阪府」  
(『部落解放研究』二八号、1982年1月)

大阪府解放会館連絡協議会「一問一答集」(同上、1982年)  
大阪府・大阪市・大阪府同和事業促進協議会「同和問題啓発映画

利用のてびき』(同上、1982年)

【文化・思想】

- 松江ちづみ「第8回部落解放文学賞児童文学部門佳作(連載第2回)ーあんちゃん」(『部落解放』一八〇号、4月)  
 《創るーみんなてつくる文化のページ》(同右)  
 林田哲治「(本の紹介)築城町部落解放研究会編『築城の語り』奈良県部落解放研究所編『こうして生きてきた』」(同右)  
 中原定人「(本の紹介)小沢昭一・土方鉄著『芸能入門・考』」(『部落解放』一八一号、5月)  
 松江ちづみ「第8回部落解放文学賞児童文学部門佳作(連載第3回)ーあんちゃん」(同右)  
 《創るーみんなてつくる文化のページ》(同右)  
 横田三郎「(図書紹介)村田拓著『荒れすさぶ野に立つ子』」(『解放教育』一五二号、5月)  
 武藤 功「物語と真実性ー『差別の構造』を捉ええたかー中上健次『千年の愉楽』第一部」(『赤旗評論特集版』二六四号、5月)  
 寺本知・小沢昭一「(対談)芸能と文化と差別ーやさしいからこそたかえる」(『解放新聞』一〇六九号、5月)  
 《創るーみんなてつくる文化のページ》  
 『部落解放』一八二号、6月)  
 千頭 剛「文学にみる青春像ー日本編(5)島崎藤村『破戒』」(『青年運動』二二三号、6月)

梅沢利彦・平野栄久・山岸嵩「文学の中の被差別部落像ー戦後篇」(明石書店、6月)

中野俊也「ゆび人形げき『火の玉のはなし』の取り組みについて」(『部落解放史ふくおか』二三号、1981年3月)  
 林田支部解放子ども会「ゆび人形げき『火の玉のはなし』(脚本)」(同右)

右田伊佐雄「滋賀県未解放部落の民謡調査報告」

(『部落問題研究』六八号、1981年10月)

光市地域部落問題研究会「周防猿まわし緊急民俗調査について」(同右)

坪井和子「泉州鳴滝村の婚制と女働き」

(『部落解放研究』二八号、1982年1月)

宮井 敏「『差別用語』論争の一視点」

(『社会科学』二九号、同志社大学、1982年1月)

岩田直二演出・日野範之構成『構成劇刑冠旗』

(同上、1982年)

【宗教】

- 窪田享信「宗教と部落問題の真摯な研究ー藤谷俊雄氏の長論文の短見を糺す」(『部落解放』一八〇号、4月)  
 仲尾俊博「『差別戒名』をめぐる三冊の差別図書ーその①『禪門小僧訓』」(同右)  
 森本寛修「(本の紹介)仲尾俊博著『人間に光』を求めてー部落差別と念仏者」(同右)

《特集》「宗教と部落問題」(『部落』四二七号、4月)

加藤西郷・東上高志「(対談)宗教と部落問題をめぐってー吉備町のドーン計画から学ぶもの」

成沢栄寿「歴史的に見た未解放部落の戒名」

全国部落解放運動連合会「(資料)『差別戒名』など宗教界の当面する諸問題についての全解連の態度」

杉尾敏明「宗教と部落問題ー宗教にたいする『全解連の態度』に関する若干の疑問」(『月刊部落問題』六五号、4月)

小野一郎「部落解放センター開設までの経過と今後の活動」

(『信徒の友』二四六号、4月)

谷口修太郎「信仰と解放・差別と宗教①ー人間とは何か」

(『南御堂』二二七号、4月)

小笠原亮一「共に在ること」(日本基督教団出版局、4月)

《特集》「宗教と差別」(『福音と世界』三七巻五号、5月)

東海林勲「日本宗教と差別」

サラル・K・チャタジー「差別問題と宗教の役割ーインドの状況を通して」

蔵田雅彦「アジアの人種と少数者問題における宗教の役割協議会」

今井数一・李清一・成田得平「日本社会における差別」

小野一郎「根源への復帰の道ー部落差別問題との取組みとアジアの少数者との出会い」

橘了法「部落問題に対する真宗的態度」

スラク・シバラクサ「タイの仏教と少数者問題」

谷口修太郎「信仰と解放・差別と宗教②ー仏にすがって」

(『南御堂』二二八号、5月)

佐治良三「愛の中に生きろ」(日本基督教団出版局、5月)

松根 鷹「『差別戒名』第三、第四の指南書ー高野山真言宗第一回確認会で判明」(『部落解放』一八二号、6月)

亀田順一「宗教の自由と部落問題ー杉尾氏の疑問に答える」

(『月刊部落問題』六七号、6月)

谷口修太郎「信仰と解放・差別と宗教③ー感動の生涯」

(『南御堂』二二九号、6月)

成沢栄寿「『差別戒名』問題をめぐって」

(『国民融合通信』九二号、1982年1月)

岩崎 徹「真宗大谷派に於ける部落解放運動の視座」(『現代教

学』七号、真宗教学研究会東京分室、1981年7月)

山本尚友「近世部落寺院の成立について(下)」

(『京都部落史研究所紀要』二号、1982年3月)

【通 史】

松井久吉「わが半生の記・3ー獄中の日々」

(『解放教育』一四九号、4月)

池田敬正「(本棚)部落の歴史・近畿篇」

(『部落』四二七号、4月)

亀井十寿「ドーンの町おぼえ書ー和歌山県吉備町同和地区のあゆみ(上)」(同右)

阪本清一郎・朝田善之助「たたかいを積み重ねてー全水60周年功



「労働者に聞く」(『解放新聞』一〇六五号、4月)

草香一介「全水の本部をまもってこの人に聞く(4)」

(『解放新聞』大阪版、四九九号、4月)

京都部落史研究所『部落史研究文献目録』(柏書房、4月)

西田英二「治一郎とその兄・治七」

(『部落解放』一八一号、5月)

石川一郎「被差別部落ノート―狭山・わが郷土の覚え書(連載第1回)」(同右)

(語り手)花山 清(聞き手)上野英信「水平社結成前後と私の

思い出へ1」(『解放教育』一五二号、5月)

松井久吉「わが半生の記・4―思い出すこと」(同右)

亀井千寿「ドーンの町おぼえ書―和歌山県吉備町同和地区のあゆみ」(2)(『部落』四二八号、5月)

本田 豊「狭山の部落史(連載第2回)―形成と解放へのたたか

い」(『狭山差別裁判』一〇二号、5月)

永田秋幸「ルポ」差別のない社会をめざして60年―山本利平さ

んの回想」(『月刊学習』二五九号、5月)

本田 豊「狭山の部落史(連載第二回)―形成と解放へのたたか

い」(『狭山差別裁判』一〇二号、5月)

山本尚友「『部落史研究文献目録』の編集をおえて」

(『京都部落史研究所報』五三三号、5月)

柳岡市次郎「西川県議差別糾弾闘争のころ」

(『解放新聞』一〇六九号、5月)

草香一介「全国水平社のひとびと―この人に聞く(初

刊)」

(『解放新聞』大阪版、五〇三三号、5月)

石川一郎「被差別部落ノート―狭山・わが郷土の覚え書(連載第2回)」(『部落解放』一八二二号、6月)

中尾健次「(本の紹介)京都部落史研究所編『部落史研究文献目録』」(同右)

中尾健次「部落起源説に関する研究史の試み(上)―稲田論

文」への疑問を通して」(『部落解放研究』三〇号、6月)

(語り手)花山 清(聞き手)上野英信「水平社結成前後と私の

思い出へ2」(『解放教育』一五二二号、6月)

井ヶ田良治「(本棚)日本歴史と部落問題」

(『部落』四一九号、6月)

亀井千寿「ドーンの町おぼえ書―和歌山県吉備町同和地区のあゆみ」(3)(同右)

前田平一「わが水平社」

(『解放の年輪』所収、ゆりかご会、6月)

田中松月「水平社六〇年を語る―差別と闘いつづけた全国水平社

と私の六〇年」(『東京部落解放研究』三〇号、6月)

《特集》「水平社60年―関東・東京の運動の歴史と証言(下)」

(同右)

本田 豊「全国水平社創立委員・近藤光の軌跡―成塚軍次氏

に聞く」

本田 豊「栃木県の部落解放運動―矢管好之助氏に聞く」

本田 豊「茨城県水平社のたたかい―多並鹿蔵氏を中心にし

て」

徳島市同和教育主事会「熱い声―被差別部落聞き書き」

(教育出版、1981年6月)

稲田陽一「松本治一郎先生の被差別部落起源論をめぐって―喜田

史学・柳田民俗学との関係」

(『部落解放研究』二九号、1982年3月)

中尾健次「(書評)研究史の創造へ向けて―津田淑編著『部落

史に関する史料・文献目録』」(同右)

部落解放地区歴史・文化を守る会「写真にみる協和町くらしの

物語(上巻)』(『しおあな研究』第五号)

(同上、1982年3月)

【前近代】

臨田晴子「部落の生活史1―女曲舞百萬」

(『部落』四一七号、4月)

永原慶二「日本中世観の展開」

(『中世史講座1』所収、学生社、4月)

臨田晴子「部落の生活史2―乞食の門次郎」

(『部落』四一八号、5月)

西垣内堅佑「廻る菊池山哉―原住民史の中の日本人」

(『歴史と現代』三巻一号、5月)

小林 茂「原田伴彦・田中喜男編『東北・北越被差別部落史研

究』紹介と書評」(『解放教育』一五二二号、6月)

臨田晴子「部落の生活史3―山水河原者善阿弥の収入」

(『部落』四一九号、6月)

「労働者に聞く」(『解放新聞』一〇六五号、4月)

草香一介「全水の本部をまもってこの人に聞く(4)」

(『解放新聞』大阪版、四九九号、4月)

京都部落史研究所『部落史研究文献目録』(柏書房、4月)

西田英二「治一郎とその兄・治七」

(『部落解放』一八一号、5月)

石川一郎「被差別部落ノート―狭山・わが郷土の覚え書(連載第1回)」(同右)

(語り手)花山 清(聞き手)上野英信「水平社結成前後と私の

思い出へ1」(『解放教育』一五二号、5月)

松井久吉「わが半生の記・4―思い出すこと」(同右)

亀井千寿「ドーンの町おぼえ書―和歌山県吉備町同和地区のあゆみ」(2)(『部落』四二八号、5月)

本田 豊「狭山の部落史(連載第2回)―形成と解放へのたたか

い」(『狭山差別裁判』一〇二号、5月)

永田秋幸「ルポ」差別のない社会をめざして60年―山本利平さ

んの回想」(『月刊学習』二五九号、5月)

本田 豊「狭山の部落史(連載第二回)―形成と解放へのたたか

い」(『狭山差別裁判』一〇二号、5月)

山本尚友「『部落史研究文献目録』の編集をおえて」

(『京都部落史研究所報』五三三号、5月)

柳岡市次郎「西川県議差別糾弾闘争のころ」

(『解放新聞』一〇六九号、5月)

草香一介「全国水平社のひとびと―この人に聞く(初

刊)」

(『解放新聞』大阪版、五〇三三号、5月)

石川一郎「被差別部落ノート―狭山・わが郷土の覚え書(連載第2回)」(『部落解放』一八二二号、6月)

中尾健次「(本の紹介)京都部落史研究所編『部落史研究文献目録』」(同右)

中尾健次「部落起源説に関する研究史の試み(上)―稲田論

文」への疑問を通して」(『部落解放研究』三〇号、6月)

(語り手)花山 清(聞き手)上野英信「水平社結成前後と私の

思い出へ2」(『解放教育』一五二二号、6月)

井ヶ田良治「(本棚)日本歴史と部落問題」

(『部落』四一九号、6月)

亀井千寿「ドーンの町おぼえ書―和歌山県吉備町同和地区のあゆみ」(3)(同右)

前田平一「わが水平社」

(『解放の年輪』所収、ゆりかご会、6月)

田中松月「水平社六〇年を語る―差別と闘いつづけた全国水平社

と私の六〇年」(『東京部落解放研究』三〇号、6月)

《特集》「水平社60年―関東・東京の運動の歴史と証言(下)」

(同右)

本田 豊「全国水平社創立委員・近藤光の軌跡―成塚軍次氏

に聞く」

本田 豊「栃木県の部落解放運動―矢管好之助氏に聞く」

本田 豊「茨城県水平社のたたかい―多並鹿蔵氏を中心にし

て」

徳島市同和教育主事会「熱い声―被差別部落聞き書き」

(教育出版、1981年6月)

稲田陽一「松本治一郎先生の被差別部落起源論をめぐって―喜田

史学・柳田民俗学との関係」

(『部落解放研究』二九号、1982年3月)

中尾健次「(書評)研究史の創造へ向けて―津田淑編著『部落

史に関する史料・文献目録』」(同右)

部落解放地区歴史・文化を守る会「写真にみる協和町くらしの

物語(上巻)』(『しおあな研究』第五号)

(同上、1982年3月)

【前近代】

臨田晴子「部落の生活史1―女曲舞百萬」

(『部落』四一七号、4月)

永原慶二「日本中世観の展開」

(『中世史講座1』所収、学生社、4月)

臨田晴子「部落の生活史2―乞食の門次郎」

(『部落』四一八号、5月)

西垣内堅佑「廻る菊池山哉―原住民史の中の日本人」

(『歴史と現代』三巻一号、5月)

小林 茂「原田伴彦・田中喜男編『東北・北越被差別部落史研

究』紹介と書評」(『解放教育』一五二二号、6月)

臨田晴子「部落の生活史3―山水河原者善阿弥の収入」

(『部落』四一九号、6月)

滋賀県同和問題研究所『部落分村古文書の研究―西生来村、桑実

寺村、下龍花村』(『部落史資料第六集』

(同上、1981年4月)

蛇草の歴史をつくる会事務局「ふみあと」(『蛇草の歴史をつくる

会会報第12号』(同上、6月)

森谷宏幸「農村における被差別部落の歴史―岐阜部で考えること」

(『部落解放史ふくおか』二三号、1981年3月)

柴田啓蔵「解放運動史余話(その十四)―中島鉄次郎のこと」

(同右)

- 人見彰彦「(シリーズ)部落史のひこま」  
 (『部落問題』三八号、6月)
- 塚田 孝「(史料・文献紹介)津田潔編著『「部落史」に関する史料・文献目録—前近代—(増訂版)』」  
 (『歴史学研究』五〇五号、6月)
- 八切止夫「日本原住民の視点・権力の歴史から身体史へ(同時代インタビュー・八切止夫氏にきく)」  
 (『同時代批評』五号、6月)
- 佐治芳彦「近世—裏切りと差別のなかで」  
 (『漂泊の民・山窩の謎』所収、新国民社、6月)
- 寺木伸明「近世部落史研究の近業によせて(上) —部落の前史から本史へ」(『解放新聞』一〇七三号、6月)
- 《特集》「『かわた』論をめぐって」  
 (『部落解放史ふくおか』二三号、1981年3月)
- 松崎武俊・秀村選三・松下志朗・安蘇龍生・中村正夫「ヘシンボジウム」『かわた』論をめぐって」  
 松尾隼一「豊前地方における皮革生産と小倉藩とのかかわり — 化政期を中心として」
- 松下志朗「(図書紹介)『筑前国葦座記録』上巻の刊行についで」  
 (『社会事業の諸問題』二七号、日本社会事業大学、1981年3月)
- 永徳照良「近世美濃の雑芸人について — 蟬丸宮の説教者」
- る一端として」  
 清原草宣「水平社同人の思い出」  
 赤松啓介「人間差別の回想—スジを中心にして」  
 川向秀武「水平社運動による融和主義批判」『水平新聞』を  
 中心に」
- 松浦勇太郎「資料・」この道を進みつつけて」より」  
 東上高志「今月の部落問題・同和教育—全国水平社創立六〇周年を迎える」(『月刊』の子ども伸びる』六〇号、4月)
- 臼井寿光「揖東郡林田下構村の部落改善運動—自由民権運動との関わり」(『月刊部落問題』六五号、4月)
- 成沢栄寿「部落解放の原点としての水平運動—全国水平社創立60周年を迎えて」(『文化評論』二五二号、4月)
- 谷口勝己「滋賀県における戦後の部落解放運動(26) — 同和教育運動史のために」(『月刊滋賀の部落』七四号、4月)
- 白石正明「江口三省小論(3)」  
 (『京都部落史研究所報』五二号、4月)
- 部落解放同盟和歌山県連合会「全国水平社創立60周年記念・和歌山県水平社運動のあゆみ — 鉄鎖より自由へ」  
 (同上、4月)
- 部落解放同盟和歌山県連合会「全国水平社創立60周年・和歌山県記念集会」(同上、4月)
- 《全国水平社60年の伝統に学ぶ》(下)《  
 (『部落解放』一八一号、5月)
- 米田富・井元麟之「(対談)水平運動よもやま話(下)」
- (『岐阜史学』二三号、1981年6月)
- 衣笠安喜「近世における身分制思想と貴賤浄穢観」  
 (『部落問題研究』六八号、1981年10月)
- 朝尾直弘「近世の身分制と賤民」(同右)
- 中嶋利雄「部落史をめぐって(その2) — 正徳四年官津領強訴と穢多訴訟」(『両丹地方史』三四号、両丹地方史研究者協議会、1981年12月)
- 倉地克直「岡山藩の『非人』支配をめぐる二、三の問題 — 享保十六年「岡山乞食之内追払一件」を素材にして」  
 (『岡山大学文学部紀要(史学篇)』二二号、1981年12月)
- 源城政好「洛中洛外図にみえる河原者村について」  
 (『京都部落史研究所紀要』二二号、1982年3月)
- 人見彰彦「(シリーズ)部落史のひこま」  
 (『部落問題—調査と研究』三七号、1982年3月)
- 調査研究所研究会歴史(前近代)「(史料解説)打牛仕候者一件(1)(同右)
- 【近現代】
- 《特集》「水平社創立六〇周年」『解放教育』一四九号、4月)
- 井上 清「水平社創立の歴史的意義」  
 渡部 徹「部落解放運動と社会主義」  
 (話し手)米田 富(聞き手)平野一郎「『全水』創立のこゝろ」
- 中村弘三「水平歌『あち千年』と西光万吉—全国水平社を探る」
- 美作 修「統『水平社宣言』の思想」  
 鈴木裕子「婦人水平運動史論覚え書(一)」  
 編集部「全国水平社創立六十周年記念行事の記録」  
 上杉佐一郎「全国水平社創立六十周年の意義」  
 (資料)「全国水平社創立六十周年記念宣言」
- 《特集》「水平社創立六〇周年と部落解放運動」  
 (『社会評論』三七号、5月)
- 田窪清秀「ひとつの教訓の歴史—水平社解消意見書から部落委員会活動まで」  
 伊藤 久「水平社以前の融和主義」  
 新井磯次「北中皮革争議史」  
 波野波一「解説『北中皮革争議史』」  
 中西義雄「水平社60年の伝統と現代」  
 (『前衛』四七八号、5月)
- 谷口勝己「滋賀県における戦後の部落解放運動(27) — 同和教育運動史のために」(『月刊滋賀の部落』七五号、5月)
- 成沢栄寿「歿後十年—難波英夫さん断片」  
 (『東京部落研会報』一一六号、5月)
- 渡辺俊雄「(図書紹介)貴重な資料の復刻『大同団結』の総括が — 部落解放人民大会速記録」(京都部落史研究所編・部落解放同盟京都府連発行)「(『解放新聞』一〇六九号、5月)
- 中野陸夫「(本の紹介)大阪同和教育史料集編集委員会編『大阪同和教育史料集』」(『部落解放』一八二号、6月)
- 近代部落関係文書研究会「明治初期被差別部落関係資料(2)

- 東京公文書館史料」(『部落解放研究』三〇号、6月)  
 東京部落解放研究会歴史部会「〈資料紹介〉小山荆冠『全国水平  
 社解放連盟解体に就いて』」  
 (『東京部落解放研究』三〇号、6月)  
 東京部落解放研究会歴史部会「東京の近代部落史関係史料集(六)  
 —東京の融和運動・融和政策(一)」(同右)  
 森山沾一「融和事業・融和教育の展開過程に関する一考察—熊本  
 県石地域の場合」(『熊本短期大学論集』三三卷一号、6月)  
 御坊市史編さん委員会「部落問題と解放運動」(『御坊市史第一  
 巻(通史編I)』所収、御坊市、1981年3月)  
 御坊市史編さん委員会「同和教育と解放運動」(『御坊市史第二  
 巻(通史編II)』所収、御坊市、1981年7月)  
 鈴木正幸「近代天皇制の支配原理に関する一試論—部落差別と関  
 連して」(『部落問題研究』六八号、1981年10月)  
 掛谷幸平「一九二〇年代融和運動についての若干の問題」(同右)  
 武知忠義「木村和蔵・井藤正一・前田治(第一章歴史教育の方法  
 と課題—第六節人物小論)」(『徳島近代史研究』所収、教育  
 出版センター、1982年1月)  
 武知忠義「部落史の教材化をめざして」(同右)  
 大串夏身「全水大阪と労働運動—関西労働組合総連盟の歴史から」  
 (『部落解放研究』二八号、1982年1月)  
 近代部落関係文書研究会「〈史料紹介〉明治初期被差別部落関係  
 史料(1) —東京公文書館史料」(同右)  
 上杉 聰「明治四年賤民廢止令の法的内容—その施行過程の研究

- 1」(『部落解放研究』二九号、1982年3月)  
 山田梅雄(写真)馬原鉄男(文)『写真集水平運動の人々』  
 (部落問題研究所、1982年3月)  
 富田支部20周年記念集実行委員会「全国水平社創立60年・部落  
 解放同盟高槻富田支部結成20周年記念誌」  
 (同上、1982年3月)  
 八箇亮仁「伊東茂光と水平社運動」  
 (『京都部落史研究所紀要』二号、1982年3月)  
 薮本昌久「高松差別裁判料弾劾等年表」(同右)  
 水内昌康「美作血税一揆の周辺より(その3)」  
 (『部落問題—調査と研究』三七号、1982年3月)